

MeSo

Medical Care & Social Welfare

京都

医療の
仲間

2014年 新年号

第178号

・発行・

京都医療労働組合連合会

京都市中京区四條御前西入

京都労働者総合会館 6F

TEL (075) 801-8002

FAX (075) 811-6170

<http://www.labor.or.jp/iroren/>

(E-mail: irouren@labor.or.jp)

〈部内資料〉



祝 非常勤職員の労働組合加入者
100人達成! 京都民医労

京都民医労では、常勤職員は全員加入制をとっていますが、非常勤職員は任意加入制です。一昨年前から、「非常勤職員の労働条件改善のためには、非常勤職員の仲間が労働組合に入ってこそ」をかけ声に、組織拡大を進め、64人の新しい組合員を迎えました。そして、昨年念願の労働組合加入者総数三桁を達成し、現在130人の組織に成長しました。組織拡大のおかげで、非常勤職員の最低賃金時給1,000円も実現。拡大の前進を祝い、1月11日に三桁達成のお祝いもかねて、旗開きを盛大に行いました。1月には非常勤委員会を立ち上げ、引き続き要求実現と仲間増やしに奮闘します。

もくじ

- 2～3 P
住民の生命と暮らしを守る自治体を
- 4～5 P
行ってきました!
日本一長～いバス定期路線の旅に
- 6～7 P
時には音楽トークプラザ
ちょっとひと味

住民の生命と暮らしを守る自治体を

台風18号被災地現場にみる京都府の実態

昨年9月15日に大規模な台風18号が発生しました。この台風の影響で、京都府内も、嵐山を始め、京都市内、南丹地域、福知山市、舞鶴市方面で、河川の増水や氾濫、橋の崩壊、住宅の浸水等の大きな被害が出ました。一昨年8月14日に宇治市を中心として発生した、局地的なゲリラ豪雨に続く、大規模な台風による水害でした。大規模災害に対する京都での状況について、京都府職労連副委員長篠塚和則さんに伺いました。

台風18号による 京都府下での被害状況

昨年9月15日に発生した台風18号では京都府全域で大きな被害が出ました。京都府の発表によると、床上浸水家屋3389戸、床上浸水家屋1802戸、全壊が2戸、半壊62戸、一部損壊が22戸になっています。被害が集中したのは福知山市と舞鶴市でした。また、河川では由良川、嵐山を流れる桂川で大規模に水が溢れ、周辺地域に大きな被害を与えました。

京都府の河川管理の 仕組み

京都府内にある河川ごとに20〜30年周期を目安とした、河川整備計画が立案されます。その計画に基づいて、京都府内7ヶ所にある土木事務

所が日常的に河川管理の業務にあっています。

各地の土木事務所職員は、通常は8時30分〜17時15分の勤務になっています。京都府内各地の河川に設置された監視機械を通して、河川の



落橋した「鳴滝橋」(国道162号 右京区京北)

情報がリアルタイムで集中される仕組みになっていますが、水防待機とあって、気象注意報や警戒報が出された場合には、それぞれの状況に応じて職員が事務所に待機する仕組みになっています。

今回の台風災害での 現場の実態

今回の台風は猛烈な量の雨が降り、インターネットで誰でも見ることが出来る情報システムへのアクセスが殺到して、河川の情報確認が困難になってしまいました。そのため、道路の通行止めなどの措置が必要になるのに、情報を正確に確認するのに苦労したようで、これまでの経験の蓄積が対応のポイントになったようです。また、10年前には12あった土木事務所が、京都府広域振興局の統合とあわせて、7ヶ所に減らされ、

職員の出勤も以前と比べて広範囲になりました。ただでさえ、出勤するのに時間がかかるのに、台風による大雨で道路は封鎖されて通行止めとなり、現場での業務は困難を伴いました。ある職員は通行止めの現場で、交代の職員がたどり着かず、約17時間にわたって孤立する事態も起きました。その職員は健康補助食品1箱とペットボトルの水だけで業務にあたったと聞きました。また、通行止めの箇所では職員が、「自分で責任を持つから行かせてくれ。」と言って、ようやく職場にたどり着いたという話もありました。このことを美談と



大野ダムに流れ着いた瓦礫・木材

するつもりはありませんが、今回の水害では、職員のぎりぎりのところでの踏ん張り、言ってみれば「府職員魂」で府民の安心と安全のために身体を張って守ったと言えます。

京都府の河川管理の 問題点

京都府の河川管理の問題点はいくつもありますが、何と言っても大きいのは、予算削減と人減らしです。京都府の河川管理予算のピークは、1998年度の233億円で対して2011年度は、81億円とピーク時の3分の1にまで減っています。人員では、土木事務所の整理統合にあわせて618名から514名と104名減らされ、そのうち技術職員が332名から284名と48名も減らされてしまいました。

広い京都府内で日常的に河川管理をしようと思えば、しっかりと行政組織とそれを支える専門的な知識と経験を持った職員が必要です。

防災対策、河川管理は、 今年4月の京都府 知事選挙の重大争点に



桂川の状況



亀岡駅北側

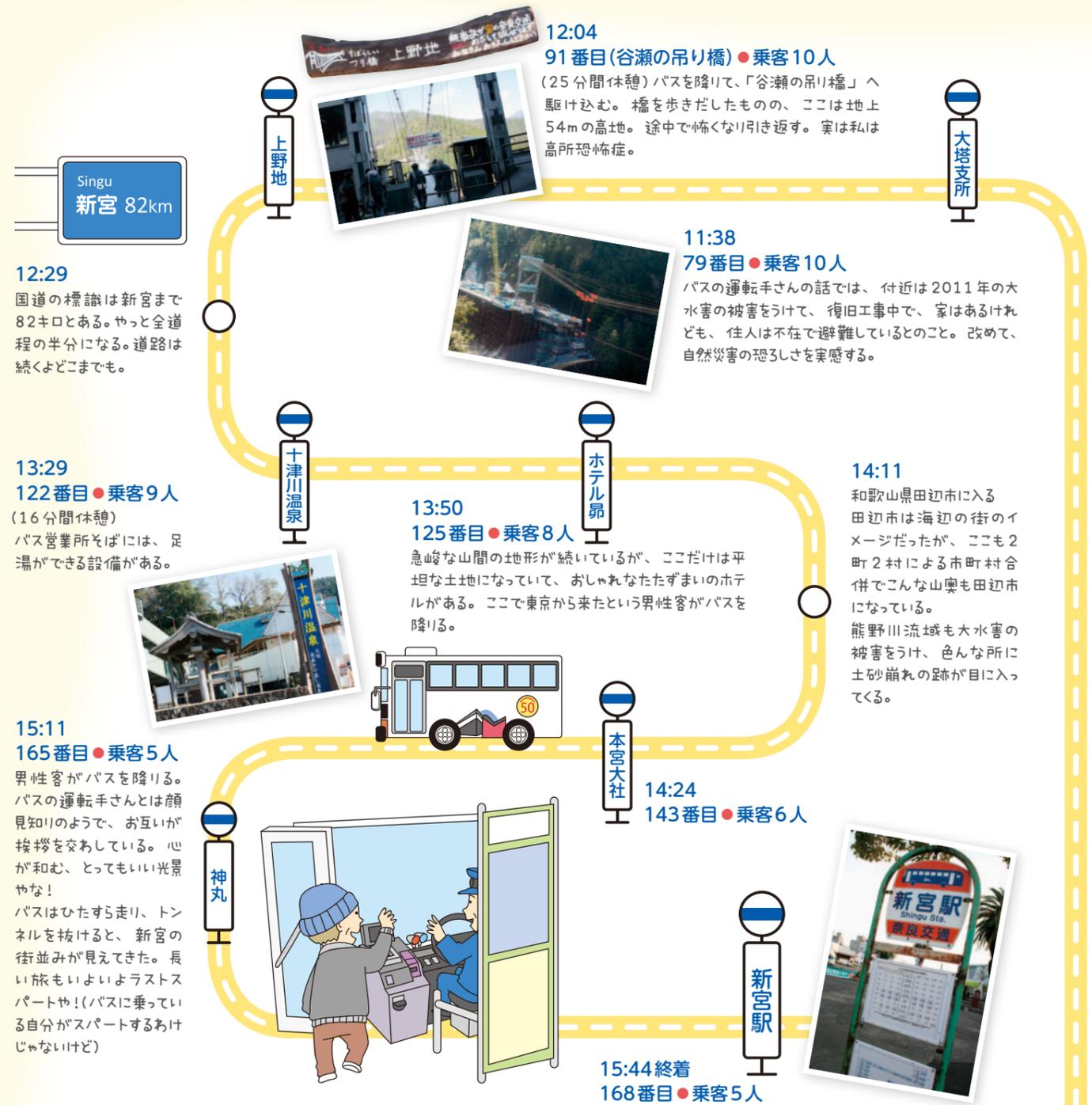
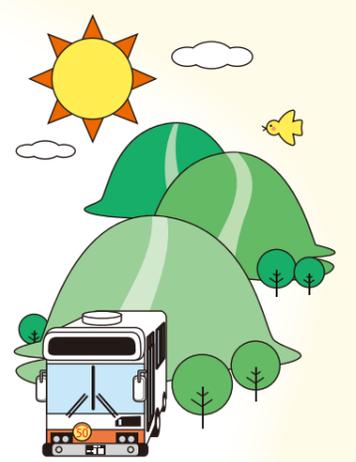
府民の安心・安全を守ることは当然の責務です。一昨年のいわゆるゲリラ豪雨による被害や今回の台風18号被害は、これまでにない特徴もあり、国・府内各市町村とも連携し、専門家の知恵を集めた検討と政策的検討を必要としています。亀岡市でのサッカースタジアム建設問題も含め、自然の保全、治水優先、開発政策の見直しも必要となっています。

「何よりも府民生活」の立場で、総合的な治水計画や住民参加・参画での防災対策をどのように進めるのか、そして、予算をどう使うのか、府の地方機関と人員のあり方が問われています。

行ってきました! 日本一長バス定期路線の旅に

奈良交通八木新宮線(奈良県大和八木⇒和歌山県新宮市) 全169キロ、全168バス停、全6時間29分! 2013年12月23日に乗車

医療の仲間の皆さん、2014年の今年も京都医労連機関紙「MeSo」を宜しくお願いします。さて、今年最初の企画ですが、忙しい毎日を過ごしているからこそ、時にはのんびり、ゆったりと旅に出たいと思い、思い立ったのが、日本一長いバス定期路線の旅でした。どんな旅になったのでしょうか。MeSo編集長の旅の眩きをお読みください。



12:29
国道の標識は新宮まで82キロとある。やっと全道の半分の半分になる。道路は続くよどこまでも。

13:29
122番目 ● 乗客9人
(16分間休憩)
バス営業所そばには、足湯ができる設備がある。

15:11
165番目 ● 乗客5人
男性客がバスを降りる。バスの運転手さんとは顔見知りようで、お互いが挨拶を交わしている。心が和む、とってもいい光景やな!
バスはひたすら走り、トンネルを抜けると、新宮の街並みが見えてきた。長い旅もいよいよラストパートや!(バスに乗っている自分がサポートするわけじゃないけど)



12:04
91番目(谷瀬の吊り橋) ● 乗客10人
(25分間休憩) バスを降りて、「谷瀬の吊り橋」へ駆け込む。橋を歩きだしたものの、ここは地上54mの高地。途中で怖くなり引き返す。実は私は高所恐怖症。



11:38
79番目 ● 乗客10人
バスの運転手さんの話では、付近は2011年の大水害の被害をうけて、復旧工事中で、家はあるけれども、住人は不在で避難しているとのこと。改めて、自然災害の恐ろしさを実感する。



13:50
125番目 ● 乗客8人
急峻な山間の地形が続いているが、ここだけは平坦な土地になっていて、おしゃれなたたずまいのホテルがある。ここで東京から来たという男性客がバスを降りる。



14:11
和歌山県田辺市に入る。田辺市は海辺の街のイメージだったが、ここも2町2村による市町村合併でこんな山奥も田辺市になっている。熊野川流域も大水害の被害をうけ、色んな所に土砂崩れの跡が目に入ってくる。

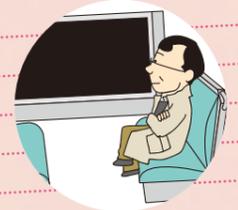
14:24
143番目 ● 乗客6人



15:44 到着
168番目 ● 乗客5人
定刻の時間にバスは終着地の新宮に到着。全行程169キロ、168バス停、6時間29分の旅が終了する。全区間を乗車した5人に、運転手さんより「八木新宮線完全乗車証明書」が手渡される。こちらも「ありがとうございました。」



旅の追伸
旅が終わった後は、新宮駅前のすし屋で祝杯をあげる。地元特産の「しび」(近海物のクロマグロのなま)に舌鼓を打ちながら、8日ぶりに飲むビールが五臓六腑にしみあたる。
17:45 祭の特急列車に乗り一歩、家路に向かう。まわりはしっぽくの闇で、車窓からはほとんど何も見えず、ひたすら長くて退屈な旅であった。夜11時過ぎに、無事我が家に到着。明日は仕事だ。



8:28
近鉄大和八木到着
駅前バスの乗車券売場をさがす。券売窓口は朝9:00からの営業とのこと。券を買う前に昼ご飯のおにぎりパンを買う。バス停を見ると若者たちがたくさん並んでいる姿を見かける。「奈良交通八木新宮線開通50周年記念168プレミアム乗車券」は、沿線・バス停案内、繪制特製交通手形、DVDまでついてなんと、5,250円也!

7:30過ぎ
寒い朝、近鉄丹波橋駅で香川編集委員と待ち合わせる。久しぶりに乗る近鉄特急に、胸が高鳴る。



7:45
近鉄丹波橋発近鉄特急に乗車
特急券がないので、香川編集委員に尋ねると、「携帯スマホで予約してますから、改札にピッとあてるだけでいいですよ」との返事。スマホの画面を見せてもらうとそれらしき表示がされている。スゴイ! いや自分が遅れているだけのことや。



9:15 出発
乗客10人
大和八木
さあ、日本一長いバスの旅の始まり。

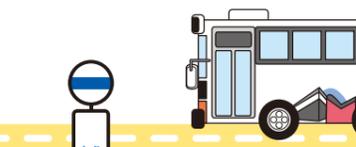


10:19
41番目 ● 乗客15人
ここで12分間の休憩
五條バスセンター



10:00
28番目 ● 乗客17人
国道168号線をバスは走る。両脇は畑、右奥は雪を被った山々が見える。

10:34
42番目 ● 乗客15人
カメラをぶら下げた高校生風の若者男子が4人乗り込む。君らも新宮まで行くんか。



11:29
曲がりくねった道に大型バスが向かって来ます。クラクションをならして、やっと相手方の運転手が気がついて、無事に離合する。

10:59
62番目 ● 乗客11人
先ほど乗車した若者4人組がバスを降りる。最後まで行かないか?

10:54
59番目 ● 乗客15人
大目川



フット 通信

2014組織拡大・共済推進合宿

京都医労連組織拡大・共済推進合宿を2月1日～2日にかけて天橋立で実施しました。この取り組みは京都医労連では初めての開催であり、今後につなげる大きな合宿となりました。1日目の夜には天橋立荘で地元料理に参加者一同大いに盛り上がりました。来年も実施の予定ですので是非ご参加下さい。



旗開き

1月18日の京都医労連春闘討論集会のあとに、京都市北区・然林坊で旗開きを行いました。座敷に宴会形式で、いつもと違った配置でしたが、新生青年部の労働組合クイズで大盛り上がり!!難しい問題にベテラン組合役員も四苦八苦。1年間、ともに頑張りましょう。



バスツアー

2013年11月30日、60周年の冠を頂いたバスツアーが、64名の参加で行われました。リニア館内を「かっこいい!」って言いながら走りまわって、お土産に買った新幹線をにぎりしめ帰路に着きました。



編・集・部・だ・よ・り

春が待ち遠しい日々が続いていますが、京都医労連では春闘と知事選と熱い活動が展開されています。ぜひ皆さんの奮闘で勝利の春を迎えましょう!

(K)